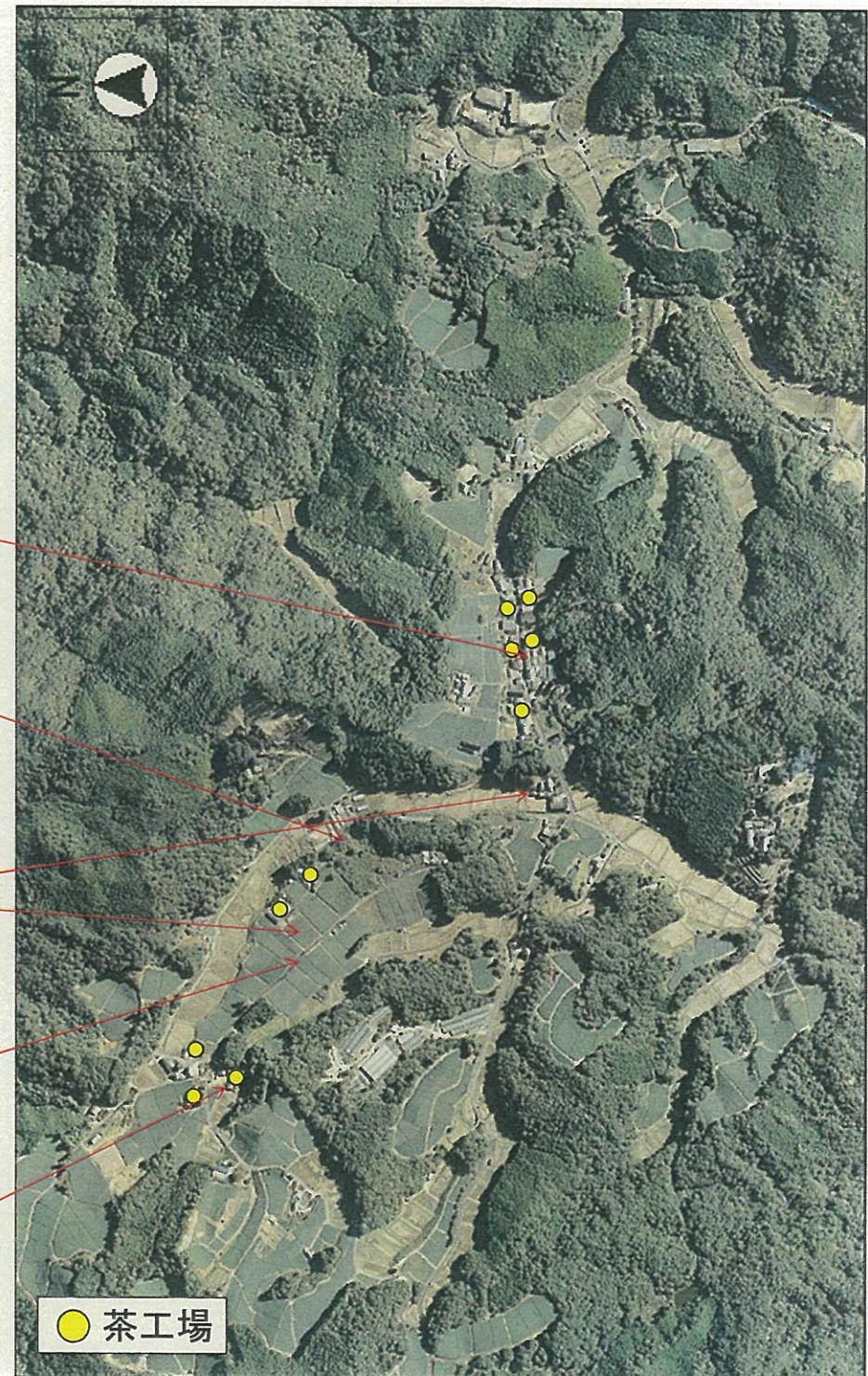


13南山城村童仙房地区

○集落内には茶工場が点在している。集落には茶畠が広がっている。平坦部に水田、傾斜地に茶畠が配されている。

○明治維新後の侍の職づくりのために、当時輸出が盛んであったことから茶畠として開墾された。(山城郷土資料館まとめ)

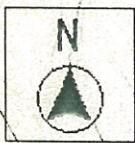
■茶畠と茶工場により特徴的な文化的景観が形成されている。



● 茶工場

A3

南山城村童仙房(北)



縮尺 1 : 2500

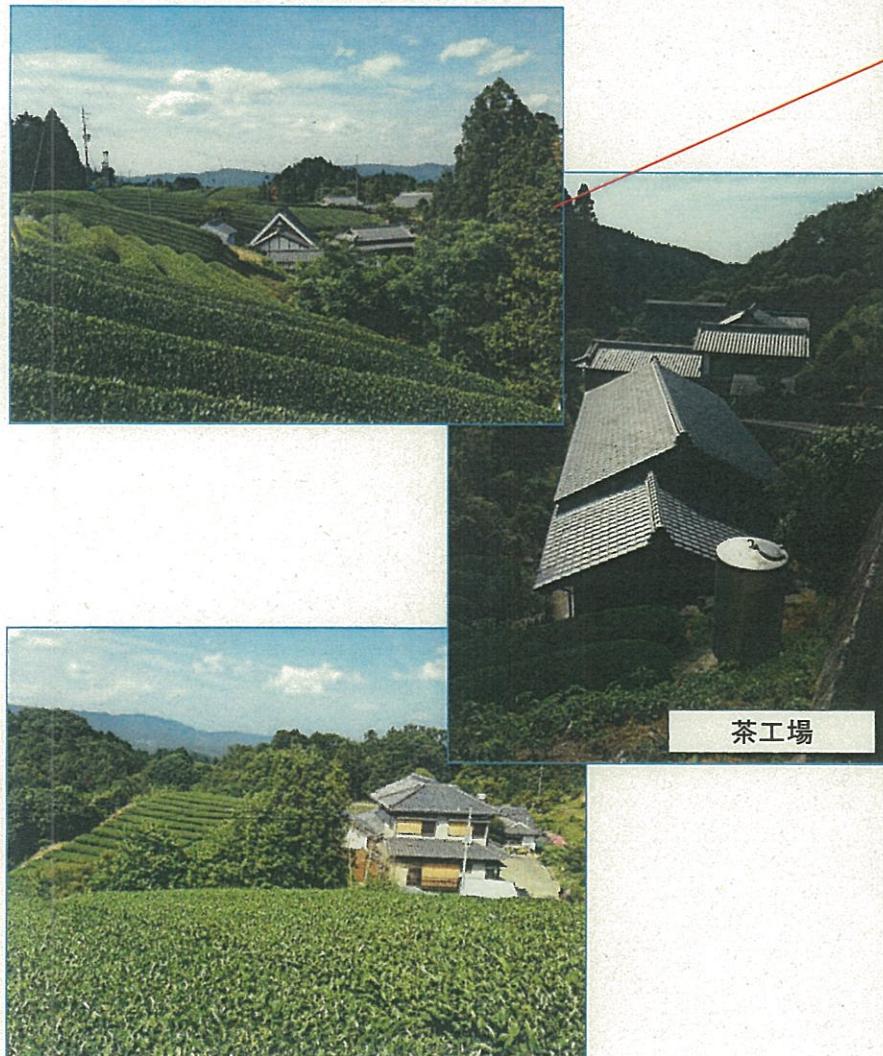
2015/06/0 0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100

14南山城村高尾地区

○丘陵に広がる集落で広い。広大な茶畠に民家と茶工場が点在している。茶工場は瓦が新しく葺き替えられている。

○茶畠の尾根筋に道路があり、そこから道路を引き込み民家がある。民家の敷地には茶工場がある。この民家と茶工場のまとまりが茶畠に点在する。

■茶畠が目前に広がる中、茶農家の住宅と茶工場が点在しており、特徴的な文化的景観を形成している。

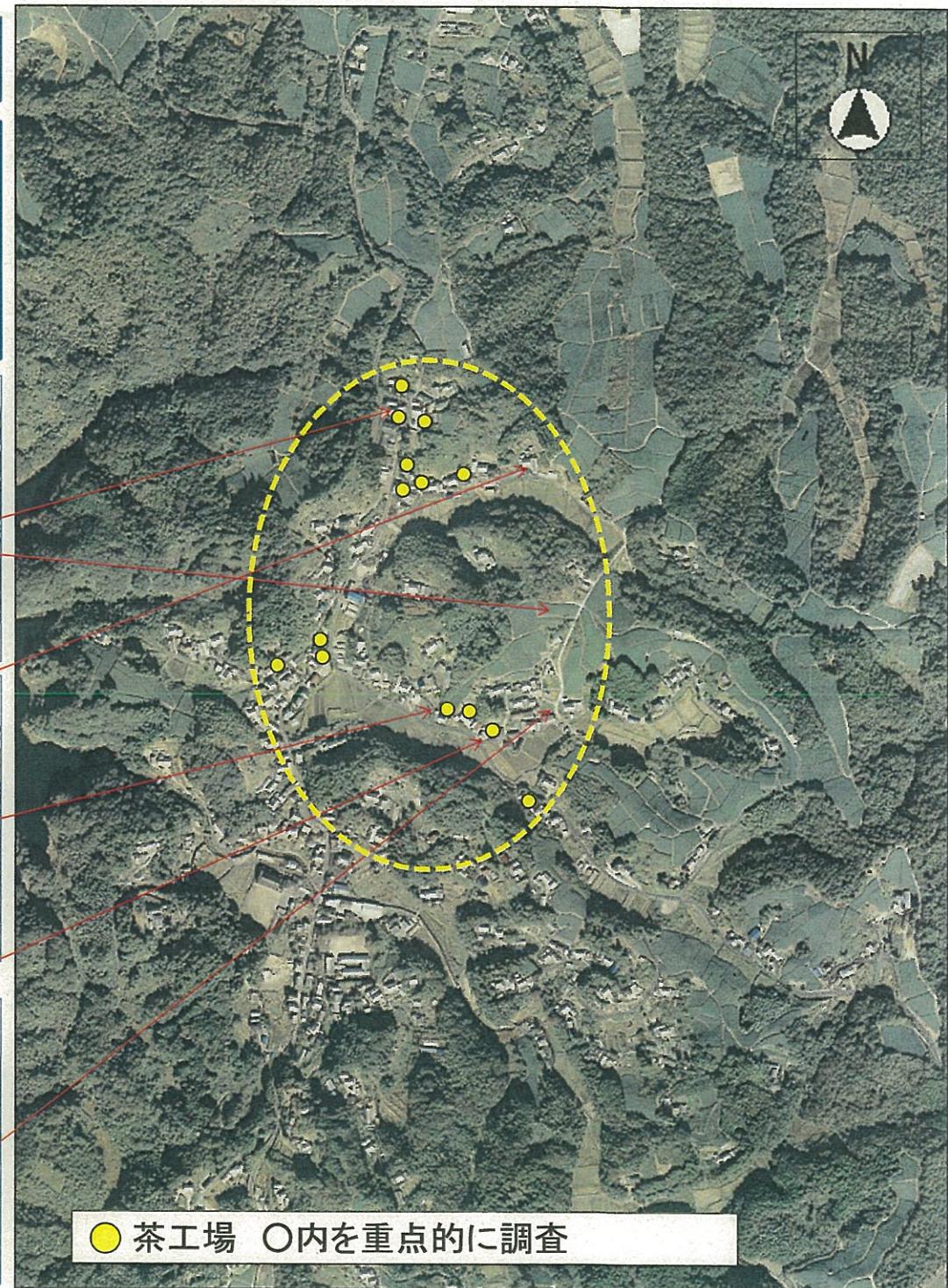
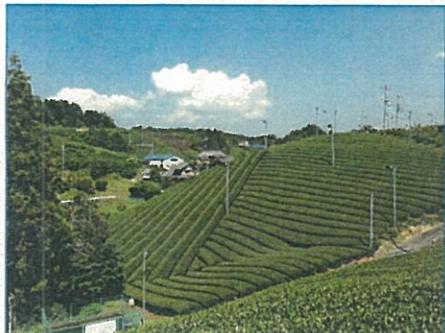


15南山城村田山地区

○丘陵に広がる集落で規模が大きい。広大な茶畠に茶工場が点在している。住宅地に近い平坦部は水田として利用されている。

○中心部に伝統的木造家屋と茶工場が集まっている箇所がある。ただ、景観としてひとまとめではない。

■古い茶工場と傾斜地の茶畠により、特徴的な文化的景観が形成されている。



● 茶工場 ○内を重点的に調査

南山城村田山(中)

